

選奨土木遺産「北上川上流総合開発ダム群」 認定書授与式【北上川ダム統合管理事務所】

- 選奨土木遺産とは、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度が設立されたものであり、東北地方の選奨土木遺産は34件、岩手県内では4件目の認定。(R3時点)
- 北上川流域の治水を最大の目的にしながら、発電・かんがい用水・上水道用水などの機能を併せた多目的ダム群として、北上川上流域の地域経済の発展に寄与した貴重な土木遺産として選奨土木遺産に認定。
- 主催者の土木学会東北支部からダム所在地を代表して、盛岡市長、花巻市長、奥州市長、雫石町長、西和賀町長等へ認定書・銘板が授与された。(参考: 当日の取材__新聞3社(岩手日報、建設新聞、日刊岩手建設工業新聞))

認定書授与式の概要

【日時】令和3年11月26日(金)10:30~
 【場所】マリオス 188会議室(18階)
 【内容】主催者、推薦者挨拶、授与
 お礼の言葉、記念撮影



土木学会東北支部



岩手大学教授



盛岡市長



認定書授与の様子



記念撮影の様子(ダム所在地市町長、利水者、ダム管理者)



花巻市長



雫石町長



西和賀町長



事務所長

- ・全国的に想定をはるかに上回る大雨が頻発している中、ダムが持つ治水機能により、市民のより安全な暮らしが守られていることを実感、ダムの恩恵に感謝。(盛岡市長)
- ・ワカサギ釣り体験等、県内外の多くの釣り客から愛されている。ボート日本代表の東京五輪事前合宿として利用されるなど水上スポーツの交流人口創出拠点として機能を果たしている。(花巻市長)
- ・完成から40年にわたり、治水・発電を目的とした利水機能により、地域の住民生活の維持に大きく貢献している。ダム湖周辺は、重要な観光スポットとして町を訪れる多くの観光客からも高評価を得ている。(雫石町長)
- ・湯田ダムクレスト放流や錦秋湖大滝ライトアップなど、地域との連携により、新たな交流人口に繋がっているなど、観光資源として注目。ジャパンツーリズムアワード入賞、日本夜景遺産認定など、全国的に評価。(西和賀町長)

調査課) 選奨土木遺産「北上川上流総合開発ダム群」認定書手交式

【実施状況報告】

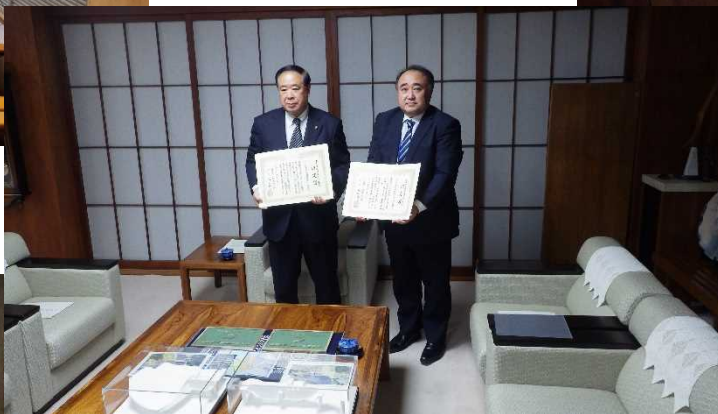
- 令和3年度選奨土木遺産に認定となった「北上川上流総合開発ダム群」の認定書手交式を12月14日(火)～20日(月)に実施しました。
- 手交式では『認定書』『銘板』『3D模型』をワンセットとして、5ダムが所在する各自治体首長へ畑山事務所長よりお渡しいただきました。
**※12月16日(木)、17日(金)の両日は「2021年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰(小沢奥州市長が受賞)」の伝達で来県された、
國友河川部長よりお渡しいただきました**
- 各自治体首長からは『地域活性化につながるツール』としての活用と共に『各ダムの広報活動へも共同で参画していきたい』とお言葉をいただいております。
※参考)12月16日(木)奥州市長への手交式の際、取材あり 新聞2社(岩手日日、胆江日日)



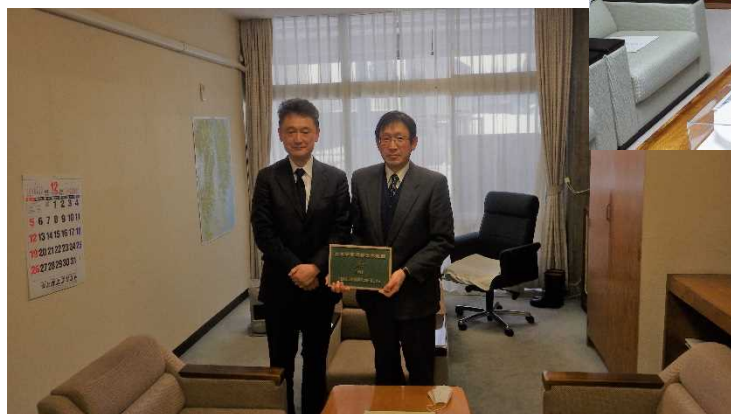
御所ダム
雫石町長 [12月14日(火)]



石淵ダム(胆沢ダム)
奥州市長 [12月16日(木)]



四十四田ダム・御所ダム
盛岡市長 [12月20日(月)]



湯田ダム
西和賀町長 [12月16日(木)]



田瀬ダム
花巻市長 [12月17日(金)]